

成田市農政推進協議会議録

令和3年5月26日

令和3年度成田市農政推進協議会議録

1. 開催日時 令和3年5月26日(水) 午後3時 開会
午後4時15分 閉会
2. 開催場所 成田市花崎町760番地
成田市役所中会議室

3. 出席者
(委員)

岩澤委員、檜垣委員、栗原委員、市原委員、及川委員、荒居委員、
大見川委員、一鍬田委員、吉岡委員、秋山委員、朝倉委員、飯田委員
(事務局)
荻原経済部長、成毛農政課長、酒井主幹兼水田営農係長、
川瀬主幹兼農業土木係長、神崎農業振興係長

4. 協議報告事項

- (1) 令和3年度農政関係主要事業について
- (2) 水田農業構造改革対策事業等について
- (3) 第3次成田市食育推進計画の策定について
- (4) 農地集積促進事業補助金について
- (5) 農道・排水路整備事業について
- (6) その他

5. 議事の概要等

司会(成毛課長)から、会議開催にあたり農政推進協議会第5条の規定による出席者数が過半数である旨の報告により、開会の宣言を行った。

冒頭、傍聴者について報告(傍聴希望者あり)

続いて、協議報告事項(1)～(6)について、事務局から報告を行った。

主な意見、質疑応答は次のとおり

6. 質疑応答

- (1) 令和3年度農政関係主要事業について
- 及川委員 真新しい事業が見当たらないが、厳しい農業情勢も鑑み、検討していただきたい。
また、ハクビシン等の駆除においても力を入れてほしい。
- 朝倉委員 さつまいも農家であるが、自ら電気柵を設置している。活用できる補助はないか。
- 飯田委員 台風通過後、農道等への倒木を地区対応で行っているため、市において迅速な対応をお願いしたい。
- 成毛課長 主要事業については、今後も農業情勢に沿った事業への取組みを行っていく。
ハクビシン等の駆除については、猟友会に委託し、罠の設置、駆除を行っている。また、イノシシの被害の拡大は、市でも把握をしており、猟友会における見回りの強化、駆除に力を入れている。電気柵の設置については、地区での取組みを行っていただくことで、活用できる補助がある。
台風等による大規模災害においては、市内全ての箇所では被害が甚大であり、農道等への倒木対応が遅くなることが考えられる。市としましては、できるだけ早い復旧を目指し、対応してまいりますので、ご一報いただきたい。
- 朝倉委員 電気柵の設置は、地区単位での取組みは難しい。個人設置への補助等も要望する。
- 荒居委員 乾田化事業補助についてだが、申込多数であり、事業補助を受けられない人が発生している。多くの農業者が補助を受けられるような対応をお願いしたい。
農地利用集積については、千葉県園芸協会へ移行するということで、農業センターの在り方が再検討されるとのこと。全ての農地を協会へ移行できるというわけではないので、零れ落ちてしまった耕作放棄地への対応もお願いしたい。
- 酒井主幹 乾田化事業は、非常に要望の多い事業である。
補助率1/2、受付は10/1から開始し、生産調整達成者が対象である。平成30年度は15件、令和元年は8件で総額約300万の補助実績である。
毎年、多くの要望をいただいている事業であるため、事業拡大を目指し、予算要求等を行っていきたいと考えている。

成毛課長	<p>中間管理機構において、全ての農地を受け入れることは、難しいと思われる。耕作放棄地への対応は、今後の課題として検討していく。</p> <p>また、成田市農業センターの体制も切り変わっていくので、耕作放棄地、事業内容等、役割についても時間を掛けて協議を重ねていきたい。</p>
及川委員	<p>新規就農に対する事業があったと記憶しているが、現在、この事業における実績等はどのようになっているか。</p>
神崎係長	<p>農業次世代人材投資資金受給者は、令和2年度、夫婦型1名、単独型1名、計2経営体が受給している。</p> <p>また、認定新規就農者については、令和2年度末で16経営体が営農している。</p> <p>近況としては、特に増加はしていない。</p>
栗原委員	<p>(2) 水田農業構造改革対策事業について</p> <p>ヘリコプター防除の単価が、2,200円から2,500円へ値上がりした理由は。</p>
酒井主幹	<p>ヘリコプターに係るチャーター料等の値上がりにより、成田地区・下総地区10アール当たり2,200円から2,500円、大栄地区においては、2,500円から2,800円へ値上げを予定。</p>
栗原委員	<p>できれば前年並みの単価で行ってほしいという強い要望がある。値上げをするならば、差額を農協で負担してほしいという意見もできていることから、来年度の単価については、再考願いたい。</p>
檜垣委員	<p>多面的機能支払交付金について、自らの地区においても、地区内で協力的に草刈、農道整備等の事業を行っている。活動の中で、排水路の泥上げを行っているが、泥上げの場所がなくなってしまう。雨が降ると上げた土が、再度、排水路に流れ込んでしまうため、とても苦労している。排水路に流入しないよう、対応をお願いしたい。</p>
川瀬主幹	<p>条件にもよるのだが、各地区より排水路の嵩上げという形で要望をいただいている。過去の土地改良や基盤整備において、柵板で整備したが、年月が経過すると柵板の両脇が痩せていってしまうことがある。嵩上げにて整備を行えば、水路の断面も広くなり、泥上げの場所も確保できる。</p> <p>該当箇所地図、路線にて相談いただければ、課内で検討する。</p>

飯田委員	多面的機能支払交付金にて活動している。嵩上げ事業は、地区で行ってなかったが、市で実施してくれるのか。
酒井主幹	多面的機能支払交付金内のメニューにおいて、長寿命化というメニューに取り組んでいなければ、市で実施する。
川瀬主幹	地区でまとまって、作業を行う時の材料支給を行うこともできる。また、地区内での作業は難しいということであれば、要望をいただければ、各水路個別で対応していくことは可能。
及川委員	(3) 第3次成田市食育推進計画の策定について 地産地消は含まれるか。
酒井主幹	第2次計画にて、地産地消は掲載されているので、第3次計画においても組み込む予定。
荒居委員	(4) 農地集積促進事業補助金について 事業から除かれてしまうような農地について、どのように対応していくか検討願いたい。
	(5) 農道・排水路整備事業について 特になし
飯田委員	(6) その他 JAかとり香取西部園芸部において、令和2年2月8日を「ベニハルカの日」と制定した。 2月に制定した理由は、需要と供給のバランスが、ある程度、均等となる。また、芋自体が熟成され、一番美味しくなる時期である。 今後もPRに力を入れていきたいので、よろしく願いたいとのこと。
岩澤議長	事務局において、要望があった件については、ぜひ、検討していただきたい。

